

Success Story at CCEB

Hayato, from Japan

3か月でIELTS 6 から 8 へ

1. 日本でのお仕事は？

日本では学校教師として働いていました。教育現場に携わってきた立場だからこそ、CCEBの先生方の人柄の良さ、学生一人ひとりへのきめ細やかなサポート、そして効果的な教え方には感心する点が数多くありました。学習者の理解度を丁寧に見極め、適切なフィードバックを与える姿勢は、教育者として非常に学ぶところが多かったです。

2. なぜケアンズへ？

20年前に家族旅行でケアンズを訪れたことがあり、その際に自然や人々の温かさに触れ、多くの素晴らしい思い出を得ました。大人になった今、改めて自分自身の意思でその場所を訪れ、学びの場として選びたいと思い、ケアンズを選択しました。落ち着いた環境で勉強に集中できる点も、大きな魅力でした。

3. IELTSコースを受講した理由は？

オーストラリアの大学進学を将来的な選択肢として考えていたため、アカデミック英語力を体系的に伸ばせるIELTSコースを受講することにしました。

4. コースはどうでしたか？

授業では、テキストを用いた文法演習やIELTSに特化した語彙トレーニングに加え、ほぼ毎週リーディングとリスニングの模試が行われていました。また、先生とのマンツーマンによるスピーキング練習や、詳細なフィードバック付きのライティング指導もあり、スコア向上を明確に意識した非常に実践的な内容でした。



Success Story at CCEB

Hayato, from Japan

5. 良かったこと、良くなかったことを教えてください

平均5〜6人という少人数クラスだったため、非常に質問しやすい環境でした。疑問をその場で解消でき、理解を曖昧なままにすることがありませんでした。また、授業では学生が主体的に発言・活動する時間が多く、積極的に英語を使う機会が豊富にありました。その結果、英語を話すことへの抵抗感やミスへの恥ずかしさが、早い段階でなくなったと感じています。一方で、小規模クラスゆえに、当初は他のクラスの賑やかさや国際色の豊かさを羨ましく感じることもありました。しかし最終的には、この環境こそが自分の英語力向上に最適だったと実感しています。

6. 高得点を取得した秘訣やアドバイスはありますか？

最大のポイントは英英辞書の活用でした。IELTSでは全セクションにおいてパラフレーズ力が問われます。設問と本文で同じ単語が使われることはほとんどなく、同義表現を見抜く力が不可欠です。英英辞書を使い、英語を英語で理解する習慣を身につけたことで、自然に語彙力が大きく伸びたと感じています。

7. これからIELTS試験を受ける人へメッセージはありますか？

自分の場合、成長を実感するまでに時間がかかりました。苦しい時期もありましたが、今振り返ると、その負荷こそが自分を成長させてくれたと確信しています。諦めず、自分の可能性を信じて努力を続けてほしいと思います。



Hayato, from Japan

8. 高得点までの道のりを教えてください

改めて、英語を学ぶ楽しさと成長の喜びを実感させてくれたCCEBには、心から感謝しています。先生方やスタッフの皆さまの手厚いサポートなしでは、ここまで到達することはできませんでした。初めの2か月はスコアが伸び悩み、苦しい思いをしていました。まずリーディングでは知らない語の多さに面食らい、リスニングでは音声が一度しか流れないのにも関わらず、読まなければならない設問の長さに大変苦労しました。文法知識が足りないがゆえに読めないのであれば、解決方法が明確なのでまだ良かったのですが、結局のところ圧倒的に不足していたのが、膨大な英語を高速で処理する能力だったため、「何をすれば伸びるのか」というイメージが当時は全く湧きませんでした。そのことを何度も先生に相談し、放課後のセルフアクセス（先生に質問可能な自習時間）も積極的に利用しました。多くの先生から様々なアドバイスをもらいながら、迎えた3か月目の模試で変化は訪れました。初めてリーディングで10分時間が余ったのです。「何だか今回読みやすいな」と思ったことは今でも覚えています。そこからは突然リーディングもリスニングも8.0から8.5を下回ることがほとんど無くなり、安定して高得点が取れるようになりました。明確なきっかけは定かではありませんが、おそらく2か月を経て、先生方から教わったIELTSのストラテジーを自分のものとして扱えるようになったこと、そして英英辞書を用いた学習を繰り返す中で、C1レベルの語彙の壁を打ち破ることができたことが、本番での高得点につながったのではないかと感じています。改めて英語を学ぶ楽しさと成長の喜びを実感させてくれたCCEBに、大変感謝しています。先生方やスタッフの方々のサポートなしでは到底なしえないことでした。ありがとうございました。 *"Thank you very much CCEB!"*

